



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長



NO. 1155 / 2011. 10. 14

東京赤坂ロータリークラブ

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel / 03-3505-5976 Fax./03-3505-6004

E-mail / akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

URL / http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報 「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」 2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/高須康有会長

●本日の例会/2011 年 10 月 14 日 第 1181 例会

卓話：ガバナー補佐公式訪問・第 3 回クラブ協議会

「会員増強・維持について」 13:10～14:30

ガバナー補佐 大西 紀男 氏 (東京南 RC)

グループ幹事 佐藤 尚巳 氏 (東京南 RC)

●前回報告/2011 年 10 月 7 日 1180 回例会

卓話：「日本とトルコと私」

米山奨学生 ウナル・ビラル氏



卓話紹介
林達夫氏

親睦活動委員会：(清水委員長)

11 月 22 日(火)に麻布 RC との合同ゴルフコンペがあります。東京国際で各々 10 名計 20 名のコンペとなります。是非ご参加ください。親睦委員長の佐藤(雅)まで。

職業奉仕委員会：(飯島委員長)

今年度のインターンシップ受入回答書が届きました。高校より 10 月中に生徒の派遣が決定します。11 月 9 日に各担当者との連絡会を開催します。

クラブ広報委員会：(松本委員長)

ロータリーの友 10 月号に「職業奉仕」の特集が載っています。ロータリーの目的は職業奉仕の推進であり、昨今、CSR、ISO、企業倫理が言われる中で、先駆的な機会であると考えます。是非ご一読ください。

幹事報告

①新会員セミナー開催のお知らせです。11 月 14 日(月)午後 3:00～午後 8:30(懇親会含む)、ハイヤットリージェンシー東京で開催されます。当日参加できない方も、アンケートにお答えください。②10 月 9 日(日)～10 月 11 日(火)2 泊 3 日で、公山城 RC へ行ってきました。目的は 12 月 15 日に行われる赤坂 RC 25 周年記念の案内です。③10 月 27 日(木)東京會館で開催のガバナー公式訪問の御案内をボックスへお配りいたしました。東京南 RC、赤坂 RC、麻布 RC の 3 クラブ合同例会となります。出欠のお返事を 10 月 19 日(火)までお願い致します。

●次回予告/2011 年 10 月 21 日(金) 第 1182 例会

卓話：「ジャズの楽しみ」

ジャズシンガー Miho Takashima 氏

10 月理事会議事録

日時：2011 年 10 月 7 日(金)例会後 13:40～15:00

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京 1F かすみ

出席者：高須、尾上、吉岡、石井、尾関、松本、橋本、庄司、飯島、竹本 計 10 名(順不同・敬称略)

【討議事項】

1. 本日付で小沢会員の退会を承認。
2. 2012～2013 年度理事・役員について以下の通り承認。
会長/尾関武男 副会長/清水實 幹事/飯島規之 会計/村山公士
理事/佐藤雅彦、岡澤実、西澤民夫、岩上義明、田村昭二
3. 地区ディスカッションリーダーに大日方会員就任要請について承認。
4. 25 周年予算について添付の通り承認。
5. 卓話予定について添付の通り承認。
6. 東日本震災復興基金補助金申請書(事業内容一部変更)について承認。
7. 25 周年記念事業の詳細については実行委員会へ一任する。
8. 新会員候補の推薦受付を承認。
9. 10 月 9 日～11 日の韓国公山城 RC 訪問のお土産代を 2 万円とするのを承認。吉岡会員へ依頼。
10. 10 月 14 日クラブ協議会プログラムを添付の通り承認。



10 月 7 日(金)/ 8 件 16,000 円

累計 312,500 円

多額の寄付を有難うございました。

渡部一元/80 になりました。体調も良くありませんが、まだ現役で頑張っております。尾関武男/いよいよ秋らしくなりました。食べ物がおいしくなります。岩上義明/赤坂のビルの 5 階に 2 年振りにテナントが入居しました！これから景気が良くなるのですが…清水實/すっかり秋です。本日、早退させていただきます。高須さん、写真ありがとうございました。秋吉志郎/2 回目のソングリーダーです。よろしく願います。西澤民夫/公山城ロータリークラブへ行ってきました。竹本さんご苦勞様です。佐藤仁/久しぶりに風邪をひいています。竹本様ニコニコご苦勞様です。竹本孝三郎/今日は小原さんのピンチヒッターです。高須さん写真をありがとうございました。良く撮れています。

出席報告：会員 43 名/出席 22 名・欠席 21 名

ゲスト / ウナル・ビラル(卓話)、林達夫(東京青山 RC)、泉山秀明、開発テツ

ビジター/ 酒井重人(東京日本橋 RC)、井出秀明(大阪平野 RC)、辻忠志(水戸さくら RC)

計 6 名(順不同・敬称略)

火曜会をどうするか、本音で語りあかそう

今回は常連のメンバーの多くに所要があり、参加できず出席者は10人と低調でした。しかし、会合は和気藹々と本音の話が数多く出て、参加して良かったとの声が彷彿と沸き上がりました。いつもの通り、火曜会の前に村山さんがスマートフォン講座を行いました。その後、尾上さんが当日出席した「ロータリー・リーダーシップ研究会」の話題を交えながら熱心に話し合いは進みました。

参考までに最近頃に話題となっているリーダーシップについて資料から引用します。

ロータリーが目標にしている「リーダーシップ」は、権限のないリーダーシップである。

求められる人間像—人格、先見性、決断力、実行力、包容力。求められる資質—前向き、積極性、打たれ強い、変化に対応、誠意。米国のビゴース教授が求めるリーダーシップの行動

Listen—聴くこと Educate—学ぶこと Assist—支援する Discuss—話し合う Evaluate—評価する Response—応える。(西澤記)

(参加者：高須会長、庄司副会長、尾上幹事、大日方、入沢、村山、尾関、田村、岩上、西澤)



米山奨学生 ウナル・ビラル氏 卓話「東の太陽、西の新月」2011年10月7日

●自己紹介

一橋大学大学院社会学研究科博士課程二年生、29才です。今年四月から米山奨学生となりました。これからの二年間もよろしくお願いします。カウンセラーは立川 RC の町田弘さんとなっています。

トルコは、リビア・エジプトなど最近話題になってい国々に囲まれている国で、ヨーロッパとアジアの中間に位置します。出身地は、首都アンカラと大都市イスタンブールの間の、エスキシェヒルという街です。エスキは古い、シェヒルは街という意味なのですが、街の中に古い建物などなく、エスキシェヒル人特有のジョークで命名したのかもしれない。学歴は、2000年～05年、トルコにあるボアジチ大学教育学部英語教育学科卒、04年関西外国語大学交換留学生プログラムに参加。06～08年東京大学大学院人文社会系研究科言語学、08～現在一橋大学社会学研究科博士課程、前後期となっています。

●日本との出会い

日本との出会いは、子供の頃から始まっていていつも頭の中に、とある日本人の名前がありました。それはアニメ「キャプテン翼」の大空翼です。歴史上の著名人などでも良かったのですが、アニメを通して日本を知るというのも、親しみを持って良かったと考えています。翼はトルコでもテレビ放映されていて、私には彼の性格が日本人の性格と写っていました。「頑張る」という言葉を知るきっかけになったし、自分の技術を磨く努力に加え、敵の技術を自分のものにし戦っていくストーリーに、日本人が既存の技術を研究・発展させ、応用していく姿に重ね合わせていました。もうひとつは、有名なエルトゥールル号遭難事件です。1890年(明治23年)オスマン帝国の軍艦が紀伊半島沖で遭難し、現地住民達が我が身を投げ出しトルコ人達を救助した。今日の日・トの友好関係のきっかけになった。このようなことが、両国友好の重要な出発点となっていると思います。最後に、私に日本語を教えてくれた先生。日本人のやさしさを知り、とても印象深く残っています。

●日本の印象

トルコ人の考える日本の印象は、「寿司とカメラ」といったところでしょう。伝統も維持していると共に、最新の技術を持ち合わせ共存させている国である。

●共通点

文法が共通する。人称・名詞・動詞の語順が日本語とトルコ語は同じであり、英語とは違った感覚を持ちました。日本でも、食事は床の上で食べることがあり、トルコと一緒にある。靴を脱ぎ、家にあがる。などの共通点を感じました。

●ジャポン

瞬間接着剤をトルコ語で「ジャボン」と言い、小さくて強力な接着剤は、日本の技術でしか作れないという思いが込められています。ジャボンバザール、日本の100円ショップのように使われているお店で、便利なものを廉価で販売しているお店に、「シャボン」を付ける事で、客に好印象を与える意味で利用されているようだ。また、トルコ製の電気製品に日本名に似通った名前をつけたりすることもある。トルコにおいて、日本(シャボン)=良いものという意味合いを持っています。

そういった国で育った私は、当然のように日本に対し好印象を持つと共に、さらに一歩踏み込んだ勉強をしたいと考え、留学生という形を選びました。具体的にどのような行動を取ろうか考えた結果、日・トの架け橋になろうと考えました。ただ「架け橋」だけであれば、外国人留学生の多くが思いつく言葉なので、私は専門の語学を生かしながら、架け橋になれないかと考えました。



～次週へ続く～

※ウナル・ビラル氏のご了承のもと、立川 RC での卓話原稿をそのまま掲載させていただいております。